



### 首都大学東京×スクラム釜石 「釜石ラグビー2019 応援プロジェクト」 始動

来年、いよいよラグビーワールドカップ2019日本大会（以下、RWC2019）がこの日本で開催されます。ボランティアセンターでは、この4年に1度、いや、“一生に1度の機会”に、RWC2019を盛り上げるために応援プロジェクトを立ち上げました。RWC2019は、東日本大震災で甚大な被害を受けた「鉄と魚とラグビーの街」岩手県釜石市でも試合が行われます。そこで本学は、元新日鐵釜石ラグビー部OB等が中心となり設立された「NPO法人スクラム釜石」と連携し、ラグビーを通じた復興支援に取り組みます。

9月19日には、本学（学長：上野淳）とNPO法人スクラム釜石（代表：石山次郎）との間で、連携・協力に関する協定を締結しました。

また、本プロジェクトの一環として、8月19日に開催された「釜石鶴住居復興スタジアムオープニングDAY」に、本学から52名が運営ボランティアとして参加しました。首都大生は、

入口での「チケットもぎり」や「資料配布」「記念Tシャツの引換」、会場内や各駐車場で「案内・誘導」、スタジアム外周での「エア遊具サポート」、舞台袖での「音響機材運び」を行いました。活動終了後の振り返りでは、学生たちから「釜石の人にとってラグビーが、それ以外の何にも変えられないものになっていた。ラグビーをしている身としてうらやましく感じた」「来年、ラグビーワールドカップが日本で開催されることで、東北が頑張っていることを発信できるチャンスだと思った」などの感想が挙がりました。

来年、同スタジアムで開催されるRWC2019においても、本学から60名がボランティアとしてエントリーしています。

これからもRWC2019の機運醸成と釜石・東北の復興を目指し、「首都大生には何ができるのか」を考えるとところからスタートし、活動していきます。

### ボランティアセンター長からのメッセージ

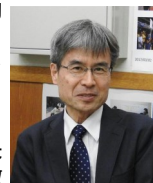
ボランティアセンターも、新学期を迎え三年目の活動がスタートしました。4月は毎年希望に胸をふくらました新一年生を迎え、その姿を見ていると、こちらでも少しエネルギーをもらったような気がします。エネルギーをもらうということに関して言うと首都大のボランティアセンターの一つの柱である地域に根ざしたボランティア活動について、学生たちが一緒に活動させてもらっている地域の方々からも、若い人と一緒に活動することで、その若さのエネルギーをもらっているという言葉はよく聞きます。大学生のボランティアには、一緒にいるだけでそう感じてもらえる、若さの特権があるような気がします。もっともそれを本人達自身は、気づかないかもしれません。

さらに人との関わりでエネルギーを貰うということについては、ボランティアセンターの2年目の活動報告会が、3月10日に学長も参加される中で開かれました。スポーツボランティア活動、特にその中でもオリンピックへの関心も高めてもらうと、今回はアトランタ、シドニー、アテネと3大会連続金メダルと取っている柔道の野村忠宏さんの講演会を企画しました。自信に満ちた達成感をもった話をされるのかと思っていましたが、野村さんは柔道一家の家族に育ちながら、身体が小さくそのことにいつも劣等感を持っていたと言います。柔道の名門校で監督をしている父親からは、身体の大きい兄はひとの三倍

練習しろと言われていたのに、身体の小さな自分は、いつ辞めてもいいからと言われていたと言います。その成績も高校時代までは決して全国レベルでなかったと言います。大学時代の監督の言葉に開眼し、それからメキメキ強くなり、アトランタでさほど注目されずに金メダルと取ったと言います。その時、当然金を取れると思われていた柔ちゃんこと田村（谷）亮子があり、ある新聞の見出しに「まさかの銀、田村、まさかの金、野村」と書かれたと言って笑いを取っていました。しかし、そこまで努力は我々想像を絶するものがあったのではと思います。その後の2大会で金メダルを取る過程も、山あり谷ありの体験があり、スポーツに向き合うひたむきさと、その体験を率直に語られる姿勢に、圧倒されつつエネルギーを貰う体験になったと思いました。

ちなみにここでエネルギーを貰うと言っていますが、これは決して物理的なエネルギーではなく、人との関わりで喚起されるひとり一人の内面にある積極的に生きようとする力と言えます。それを得るためにはいろんな体験や活動がありますが、ボランティア活動は、そのような喚起されるエネルギーを分かち合う体験を与えてくれる機会になる気がします。

首都大学東京ボランティアセンター長  
永井 徹





## 活動履歴

### 【4月】

#### 1) 学生コーディネーター企画 「春満開！桜プロジェクト」

4/3～4/30、ボランティアセンターにて学生コーディネーターたちがボランティアセンターの周知を目的に企画したイベント。ボランティアセンター前の掲示板に桜の木を掲示し、その花びらに、「今年の目標」や「夢」を書いてもらいました。

#### 2) 地域ボランティアプログラム プレ企画

##### 「みんなで一緒にたけのこ掘り in 首都大・松木日向緑地」

4/14(土)・21日(土)・28日(土)、「地域ボランティアプログラム」のプレ企画として、ひなた緑地遊学会の方々のご協力のもと、たけのこ掘りを実施しました。近隣の小学校の親子や障がいのある方々を招いて行われたこの企画は、今年で3回目となります。

### 【5月】

#### 1) 八王子地域合同学園祭「学生天国」

5/13(日)、八王子市が主催し、市内の様々な大学が合同で実施する学園祭「第13回学生天国」にて、「地域ボランティアプログラム」の活動報告を行いました。

#### 2) スポーツボランティアプログラム プレ企画

##### 「第19回東京都障害者スポーツ大会 (陸上競技)」

5/26(土)・27(日)、6/2(土)、昨年度に引き続き、「スポーツボランティアプログラム」のプレ企画と位置付け、呼びかけたところ、3日間を通して合計25名の首都大生が運営ボランティアとして参加しました。

### 【6月】

#### 1) スポーツボランティアプログラム 「伊豆大島トライアスロン大会」 (→詳細)

#### 2) ボランティアプログラム 「事前学習Ⅰ」

(スポーツ、地域①・②共通)

6/11(日)、今年で3年目となるボランティアプログラム。講師は、ボランティアセンターアドバイザーであり、人文社会学部の室田信一先生にご担当いただきました。昨年度から引き続き参加している学生も、新たな参加者に向けて、自分たちが行ってきた活動の紹介などを担当しました。

#### 3) 地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム 「事前学習Ⅱ」

6/24(日)、今年度新たに始まったボランティアプログラムの1つである本プログラムの事前学習Ⅱが実施され、12名の学生が参加しました。「みなみおおさまカフェ」の始まりやこれから活動を始めようとして必要となる知識などを講師の方々から学びました。

#### 4) 「外国人おもてなし

##### 語学ボランティア」育成講座

6/30(土)、東京都と本学の共催で行われた本講座は、今年で3年目の実施となります。今回は、30名の学生が受講し、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や外国人に対する「おもてなし」の心を身につけるため、「おもてなし」や異文化コミュニケーションについて映像やグループワークを通して学習しました。

## スポーツボランティアプログラム



ボランティアプログラムの一つ、「スポーツボランティアプログラム」がスタートし、7月14日(土)に「事前学習Ⅱ」(事前学習Ⅰはスポーツ・地域共通)を実施しました。今年度は3年目の学生(リーダー)が5名、2年目の学生(サポーター)が5名、1年目の学生が19名参加しています。プログラムの参加学生は、この事前学習に参加し、これからの活動に向けて必要となる知識や技術を学んでいきます。

講師は、本学の健康福祉学部理学療法学科の助教である信太奈美先生、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会の市川大貴さん、社会福祉法人日野市社会福祉



協議会の宮崎雅也さんの3名にご担当いただきました。

2年目の学生(サポーター)から昨年度の活動について説明後、各講師による講義を行いました。講義の後半には、「歩く」ことや「キャッチボール」などで視覚障がいのある人の疑似体験をしました。「歩く」ことでは、どのように支え、誘導すれば安心感を与えられるのか、試行錯誤している様子が印象的でした。「キャッチボール」では、言葉で周囲の状況や次の行動を伝えており、特に、「行動する前に」「詳しく」「分かりやすく」といったことを意識していました。

### 【第30回 伊豆大島トライアスロン大会】

6月9日(土)、東京都大島町の元町港を中心に開催された本大会において、初めて首都大の学生が運営ボランティアとして参加し、受付係や折り返し地点のチェックなどの活動を行いました。唯一の島外からのボランティアとのことでしたが、笑顔で元気に声かけをし、大会を盛り上げていました。



## 地域ボランティアプログラム①～松木日向緑地プログラム～



9月8日(土)、本学の敷地内にある小高い丘がある広場(通称：サル山)にて、近隣小学校の児童を対象とした「サル山水合戦」を開催しました。

「サル山水合戦」とは、松木日向緑地で採れた竹を用いて作った竹水鉄砲を使って行われる当てゲームです。昨年度、本プログラムの学生が中心となって企画し、今年で2回目の開催となりました。今年度は、昨年度参加した愛宕小学校に加え、南大沢小学校、柏木小学校の子どもたちや保護者、教職員らが約60名参加しました。

1週間前の9月1日(土)には、事前準備として、水鉄砲に使う竹を切ることから始めました。プログラム参加1年目の学生にとっては、初めてとなる竹の伐採でしたが、2年目(サポーター)、3年目(リーダー)の学生とペアになり、伐採方法を1から学ぶことで、無事に1人1本ずつ竹を伐採することができました。この後、竹を適当な長さに切ったり、やす



りをかけたりして加工し、当日の材料の準備を終えました。

水合戦当日は、まずは竹水鉄砲作りから。子どもたちは、学生の手本をよく見たり、学生に手伝ってもらったりしながら真剣に水鉄砲を作っていました。早く作り終えた子は、我先にと水を吸い込み、試し打ちをして遊んでいました。

自分の水鉄砲を持って、いよいよ「サル山水合戦」へ出陣。5チームに分かれて、試合は7分間で行われ、相手チーム的に水を当てたら勝ちです。チームごとに戦略が違い、どの試合もヒートアップしていました。広いコート縦横無尽に走り回る子どもたち、一瞬の隙をついて保護者の大人たち、子どもたちに囲まれ水をかけられる学生たち、参加したみんなが全力で楽しんでいました。普段は親子でも、試合中は対等な関係のチームメイトです。親子で、そして大学生も一緒に喜びや悔しさといった感情を分かち合える良い機会となったことと思います。



## 地域ボランティアプログラム②～みなみおおさまカフェプログラム～



7月10日(火)、南大沢キャンパス国際交流会館にて、「みなみおおさまカフェ」の活動を行いました。みなみおおさまカフェプログラムからは6名の学生が参加しました。

今回は、地域ボランティアプログラムとしての第1回目の活動ということで、カフェ運営のコアメンバーから普段学生が行っている役割について説明をしていただき、カフェ運営の全体像を把握しました。参加学生は、役割ごとの活動内容を知り、「これからどの役割で活動していくのか」と悩んでいる姿が印象的でした。

各役割の案内をしていただいた後は、地域の方々がお話をされているテーブルに入らせていただき、様々な話をしました。緊張している学生もいましたが、地域の方々優しく声をかけてくださったことで、どの学生も楽しく会話をしていました。出身地の話などから、共



通の話題を見つけ、途切れなく話をしていたグループもありました。

カフェの後半には、国際交流会館内の大会議室に移動し、看護師の方による熱中症予防の講演をお聞きしました。その後、地域の方々に本学のボランティアプログラム、そして、プログラム参加学生の紹介をさせていただきました。

これから、みなみおおさまカフェの活動を通して、学生が南大沢地域の方々と交流し、つながりをつくっていければと考えています。



## ボランティア団体フェア「サマボラ2018！」～Find my Volunteer.～



7月2日(月)、3日(火)の2日間、南大沢キャンパスのインフォメーションギャラリーにて、ボランティア団体フェア「サマボラ2018！」～Find my Volunteer.～を開催しました。

「サマボラ2018！」は、ボランティア活動希望が増える夏休みを前に、学生とボランティアを募集している学内外の団体が直接出会い、参加につながるきっかけを提供するイベントです。今年で3回目の開催となりました。

各ボランティア団体によるブース出展に加え、今年も学生コーディネーターによる様々な特別企画を実施しました。

今年は梅雨明けが早く、予想よりもかなり気温が高い中での開催となりましたが、両日とも多くの学生が足を止め、関心のあるボランティア団体の説明を聞いていました。

2日間で合計7分野13団体(学外団体9団体、学内団体4団体)がブース出展をしてくださいました。参加団体の活動分野は、



「子ども」「障がい児・者」「国際」「環境」「スポーツ」「路上生活者」「復興・防災」と多岐にわたりました。

また、学生コーディネーターによる特別企画は『竹スポ2018!』『ポッチャ体験会』『オリンピック・パラリンピッククイズ!!』『七夕～君の願いは。～』『ゆるスポーツFLYING EGG』といった5つの企画でした。

これからも全キャンパスの学生のニーズと繋げていき、ボランティア活動を始めるきっかけを提供していきたいと思っております。



### 【7月】

#### 1) ボランティア団体フェア

「サマボラ2018！」

(←詳細)

#### 2) 地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム

(←詳細)

#### 3) スポーツボランティアプログラム 「事前学習Ⅱ」

(←詳細)

#### 4) 釜石ラグビー2019応援プロジェクト 「第1回 ワークショップ」

(←プロジェクトの詳細は表紙を参照)

7/21(土)、本プロジェクトの「第1回ワークショップ」を実施し、ラグビーワールドカップ2019の機運醸成と釜石の復興を目指し、自分たちにできることのアイデア出しを行いました。

### 【8月】

#### 1) 地域ボランティアプログラム① 松木日向緑地プログラム

「事前学習Ⅱ」

8/9(木)に実施した「事前学習Ⅱ」を実施し、里山や南大沢地域のことについて講師の方からお話を聞いた後、緑地が抱える問題について全体で話し合いました。

#### 2) 釜石鶴住居復興スタジアム オープニングDAY

「ボランティアツアー」

(←詳細は表紙を参照)

#### 3) スポーツボランティアプログラム 愛宕小学校「スポーツ体験会」

8/23(木)、八王子市立愛宕小学校にて、スポーツボランティアプログラムの3年目(リーダー)と2年目(サポーター)の学生が中心となって企画したスポーツ体験会を実施。児童をはじめ、保護者、先生など40名を超える方々に参加していただきました。

### 【9月】

#### 1) スポーツボランティアプログラム

・9/5(水)：東京都障害者スポーツ大会

「スポーツの集い」15名参加

・9/8(土)：「伊豆大島 御神火ライド」  
6名参加

・9/28(金)：東京八王子ビートレインズ  
「開幕戦」8名参加

#### 2) 地域ボランティアプログラム① 松木日向緑地プログラム

「サル山水合戦」

(←詳細)

#### 3) 地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム

・9/11(火)：通常カフェ 5名参加

・9/15(土)：出張「オトパイン南大沢」  
3名参加

・9/29(土)：出張「市民センターまつり」  
2名参加

#### 4) ボランティアコーディネーションカ 3級検定

9/22(土)、日本ボランティアコーディネーター協会と共催で本検定を実施しました。普段、ボランティア活動に取り組んでいる首都大生たちが、社会参加を支えるチカラである「ボランティアコーディネーションカ」について研修で学び、最後に試験を受けました。



## 新たな学生コーディネーター紹介

～4月から、新しい学生コーディネーターが6名が加わり12名体制になりました！～

首都大学東京ボランティアセンターは、教職員に加えて、学生も「学生コーディネーター」として運営に参画しています。学生目線からボランティアの啓発・促進を目的に、ボランティアを希望する学生の相談に乗ったり、啓発のためのイベントを企画したりしています。

ぜひ、お気軽に学生コーディネーターに会いに来てください。



## ボランティア募集情報

※いずれも詳細や申込みは首都大学東京ボランティアセンターまで

### 「子ども夢の商店街」子どもサポーター

【主催：子ども夢の商店街実行委員会事務局】

活動日：12/15（土）・16（日）※1日だけでも参加できます

時間：現地集合 8：20 現地解散 17：00

場所：DCMホームマック八王子みなみ野店

（JR八王子みなみ野駅前広場集合）

活動内容：子ども夢の商店街では、小学生が会場に設置された領事館、銀行、放送局、広告店、米屋などを自由に選んで働き、お給料として「おむすび通貨」を手に入れます。子どもサポーターは、小学生にオシゴトの内容を教えたり、監督したり、励ましたりします。

### 民有緑地 維持管理ボランティア

【主催：八王子市 環境保全課】

活動日：12/1（土）10：00～15：00（雨天決行、荒天中止）

場所：「三田まちの広場」に集合

JR西八王子駅南口から高尾山駅行きバス

「陵南中学校」下車 徒歩5分

もしくは、京王線狭間駅から徒歩10分

活動内容：八王子市の市街地には、昔から人の手によって維持管理されてきた緑地がたくさん残されています。八王子のみどりの歴史を学び、緑地の手入れを行います。「十二社斜面緑地保全区域」の下草刈り

## ボランティアセンターからのお知らせ

### 1 day（1日体験）ボランティア

ボランティアに関心はあるけど、「きっかけがない」「一人だと参加しづらい」等と感じる人に特にオススメな企画です！この企画では、公的機関やNPO、ボランティア団体等の様々な現場の中から関心のある活動先を選び、そこで「1日ボランティア」に参加できます。体験に加えて、事前・事後学習もセットで行い、ボランティア活動について学んだり、体験したことを振り返ったりする機会も設けます。事後学習修了後は、「修了証」をお渡しします！

まずは“1日”からボランティアを始めてみませんか？

#### ◆日程

【事前学習】10月28日（日） 13：00～16：30

【ボランティア体験】10月29日（月）～12月8日（土）

※この期間中のどこか1日以上（団体により異なる）

【事後学習】12月9日（日） 13：00～16：30

※詳細な活動内容やお申込みは、ボランティアセンターのホームページをご覧ください。

### ボランティアセンター講座～スポーツボランティア2020～

2020年を2年後に控え、より一層「オリンピック・パラリンピックとボランティア」というテーマへの関心が高まっています。この機会に、改めてオリンピック・パラリンピックやそこに携わるボランティア活動への理解を深め、自らがどのように関わっていけるのかを考えていきましょう。

オリンピック・パラリンピックのボランティアに興味がある方、オリンピック・パラリンピックについて、もっと深く知りたい方にお勧めです。

#### ◆日程

第1講座：10月18日（木）16：30～18：00

第2講座：10月25日（木）16：30～18：00

第3講座：10月27日（土）13：00～14：30

◆場所 いずれも南大沢キャンパス1号館110教室

◆受講料 無料（要事前申込）

※ご希望の回にご参加ください。

※各回の詳細な内容やお申込みは、ボランティアセンターのホームページをご覧ください。

Twitter 開設しました。

ボランティアプログラムの様子 講座・検定等の案内  
学生コーディネーターのつぶやき など

Check!! 「首都大学東京ボランティアセンター」  
@tmu\_volunteer

ボランティアセンター  
公式SNSはじめました！！  
フォロー＆いいね！お願いします。

Facebook 開設しました。

ボランティアプログラムの様子 講座・検定等の案内  
学生コーディネーターの取組 など

いいね!! 「首都大学東京ボランティアセンター」

### <編集後記>

長い夏休みが終わり、後期の授業が始まります。前期総集編の今号ですが、こうやって振り返ると、前期も多くの学生の皆さんにボランティアに参加していただき、多くの地域の方々にご協力をいただき、ステキな出会いがたくさんありました。

9月下旬からは、いよいよ2020年の東京オリンピック・パラリンピックのボランティア募集が始まります。せっかくの機会なので関わりたいという人もいれば、様々なネガティブ情報により躊躇されている人もいられるかもしれません。自発性が最も大切であることは言うまでもありませんが、関わり方も多種多様。ぜひ、2020年を社会をより良くする機会と捉えて、自分ならではの関わり方を見つけてみてください。何かやりたい、情報がほしいという方は、ぜひボランティアセンターへお越しください！

### <編集・発行>

首都大学東京ボランティアセンター  
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 1号館1階  
電話：042-677-1354（直通）／内線2260  
FAX：042-677-1812／内線2249  
E-mail：tmu-volunteer@imj.tmu.ac.jp  
URL：http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/12\_volunteer/  
発行日：平成30年 9月

